2017-03-17 手賀沼線所調査・小型定置網設置勉強会

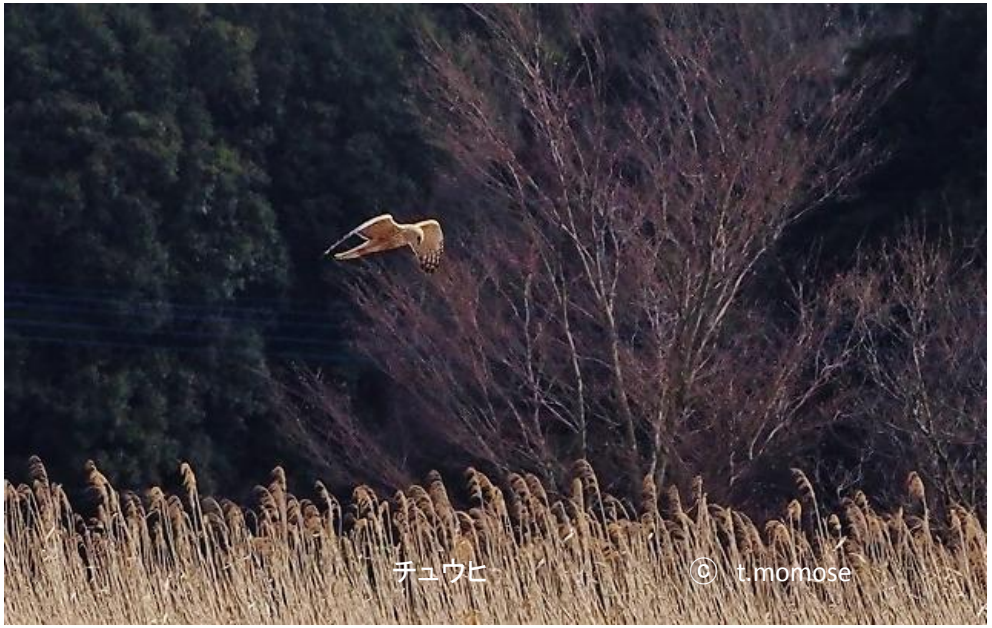
© t.momose

手賀沼で初確認　アシシロハゼ
ⓒ t.momose

オオセグロカモメ
ⓒ t.momose

カンムリカイツブリ
ⓒ t.momose

アオサギ
ⓒ t.momose


チュウヒ
ⓒ t.momose

2017-03-18 手賀沼線所調査・小型定置網設置勉強会

手賀沼船上調査報告（プランクトン）　2017.03.18

梶　眞壽

天候：晴、気温：出発時12.7℃、風：北西　1m　昼頃から2～3m

＊総合知見

季節的に、プランクトンの密度は低い時期で、主として珪藻が占める。藍藻、緑藻は少ない。
原生動物では小型の鞭毛虫類が目立つ。ノウプリウス、小型のワムシが少し見られる。
今回水深が浅いところでは風で湖底の泥が巻き上がって、底生生物も混入している。

＊採取地点による各論（定置網を設置した地点に近い4か所）

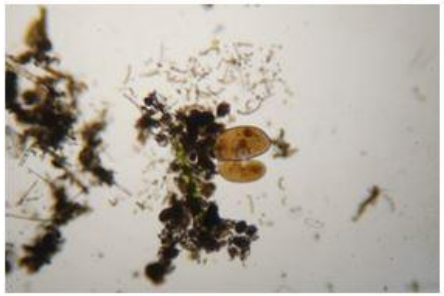
親水広場　09:10　水温11℃
　植物性：ヒメマルケイソウ、ハリケイソウ類、クサリケイソウ
　動物性：ノウプリウス、
　　ツボワムシ類、カメノコウワムシ、
　　鞭毛虫各種（ユーグレナ類）

高野山下　09:50　水温11.4℃
　植物性：珪藻の種類多い。ヒメマル、ハリ、フナガタケイソウ類
　　藍藻のユレモ、緑藻少ない
　動物性：ケンミジンコ、ツボワムシ類

鷲野谷新田　10:01　水温11℃　（泥が入った）
　植物性：ヒメマルケイソウ（単細胞）、ハリケイソウ類、クサリケイソウ
　　緑藻のパンドリナ、ミカヅキモ、
　動物性：繊毛虫のディレプタス、ゾウリムシ類の接合行動
　　コガタワムシの仲間、ツボワムシ類
　　ノウプリウス
　　ヒメミミズ（底生生物）

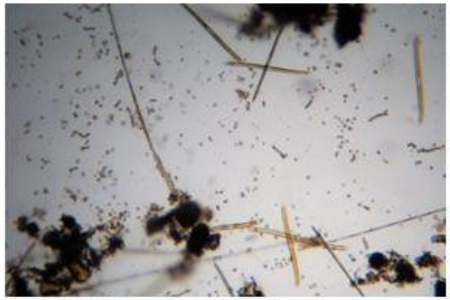
フィッシングセンター　13:00　水温13℃
　植物性：ケイソウは他の場所とおなじく、ヒメマル、ハリ、クサリ
　　緑藻のミカヅキモ、ユーグレナ類
　動物性：ツボワムシ類、ツボワムシ、コガタワムシ類
　　ウロコカムリ（殻）、繊毛虫のディレプタス
　　ノウプリウス
　　ヒメミミズ

次ページ：写真1. 接合は性的に同等なので、固体の大小と雌雄は関係ない。
　写真2. ミミズはプランクトンではないが、良くネットに入る。
　写真3. 丸い粒がヒメマルケイソウ。棒状のものがハリケイソウの数種。
　写真4. ウロコカムリはツボカムリの仲間で、中にアメーバ類が入っている。

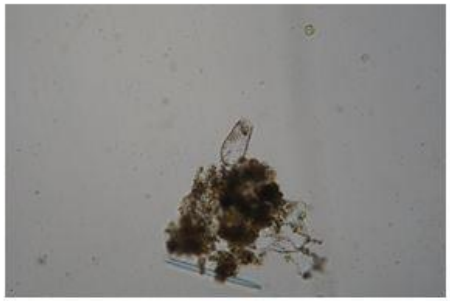


接合しているゾウリムシの仲間

ミミズ（貧毛類）の一種、頭部



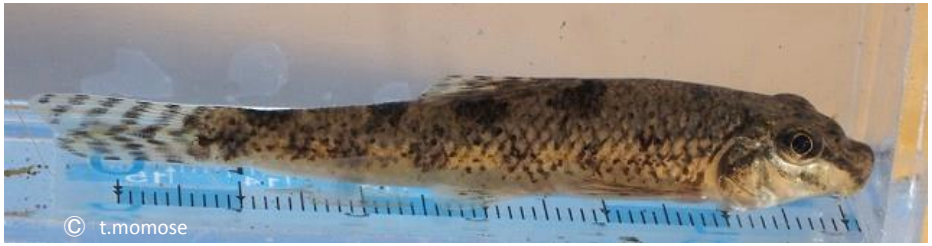
ヒメマルケイソウ、ハリケイソウ類の群



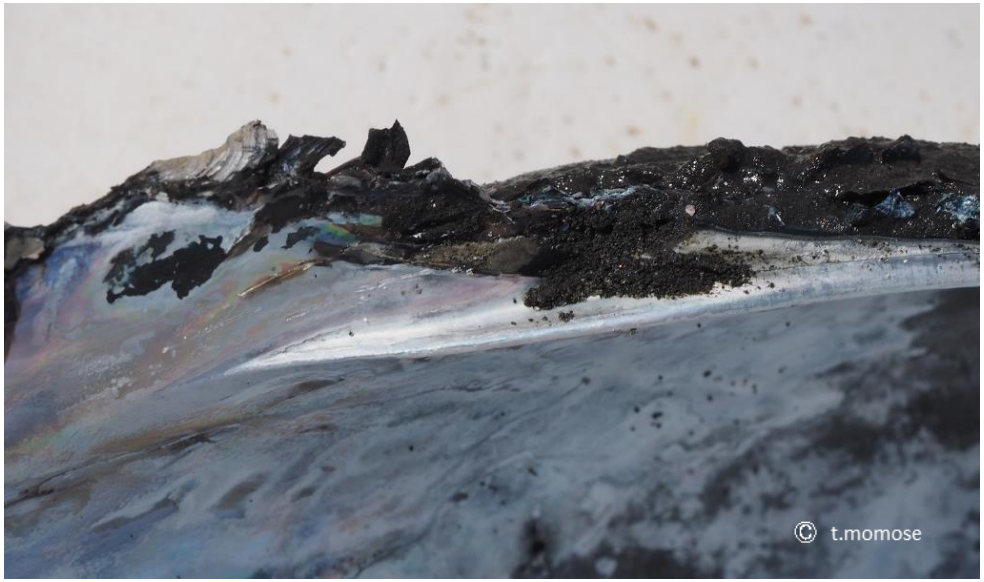
ウロコカムリ（根足類）の殻

アシシロハゼ

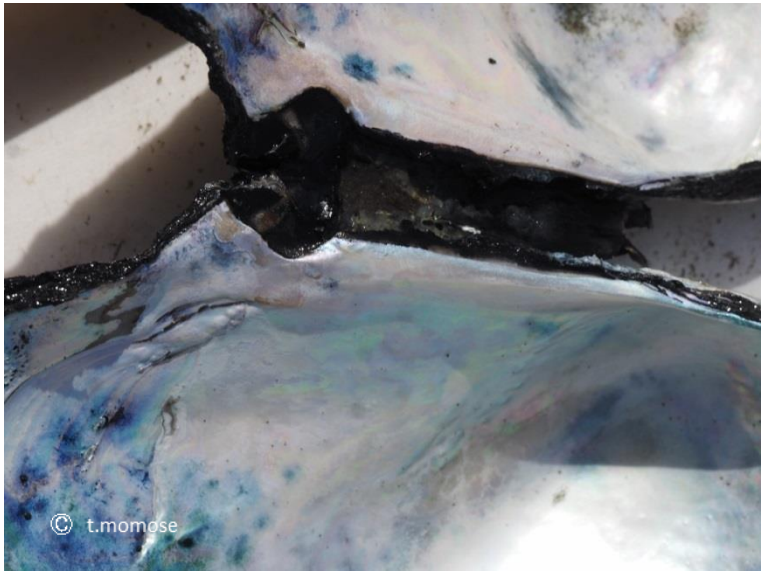
ヨシノボリ（クロダハゼ）



ツチフキ



カラスガイの貝殻



ドブガイの貝殻

2017年3月17日・3月18日　手賀沼船上調査データ

	親水広場	高野山下	岩井新田	鷲野谷新田	ビオトープ前	染井入落とし	フィッシングセンター	
3・17　セット時間	10:30	11:00		11:30			13:30	13:30
ガサガサ								
アシヒロハゼ	1							
ヌマチチブ	3							
ドブガイ	1		2	1		2	2	

	親水広場	高野山下	岩井新田	鷲野谷新田	ビオトープ前	染井入落とし	フィッシングセンター	
3・18　回収時間	9:10	9:50		10:00			13:00	13:00
小型定置網	2	1		1			1	1
モツゴ	3	3		1			6	4
タイリクバラタナゴ	6	4					1	2
タモロコ	3	1		1			5	1
ツチフキ	1						6	
ヨシノボリ		2						
ヌマチチブ				1				
ハス							1	
ボラ(仔)							1	
ギンブナ							1	
ゲンゴロウブナ								1
スジエビ	多数	中量		少量			少量	少量

ガサガサ								
ヌマチチブ	1							
ドブガイ	1年もの:1		3	1			8	
テナガエビ				2				
ドブガイ貝殻				7	11			
カラスガイ貝殻			2		2			